

第2回地域幸福度（Well-being）指標有識者検討会

岡山県吉備中央町 Well-being指標活用取組紹介

2023年3月30日
吉備中央町企画課

吉備中央町の概要

岡山県の中央(へそ)



おっへえそっ!
おかやま 吉備中央町

- 1973(S48)年に岡山県が「人間尊重・福祉優先」を理念に西日本エリアの教育・福祉・文化・産業の中心地を目指し整備が開始された「吉備高原都市」を有する
- 水稲を中心に高原野菜やブドウ、ブルーベリーが特産品、ふるさと納税の寄付額は約12億円

地域概観 (全域)

- **人口 10,925人 (2021.1.1)**
- 世帯 5,292世帯 (2021.1.1)
- 面積 26,778ha
- 標高 120~500m
- 気候 高原冷涼
- 地質 強固な地盤



吉備高原都市



吉備中央町田園風景

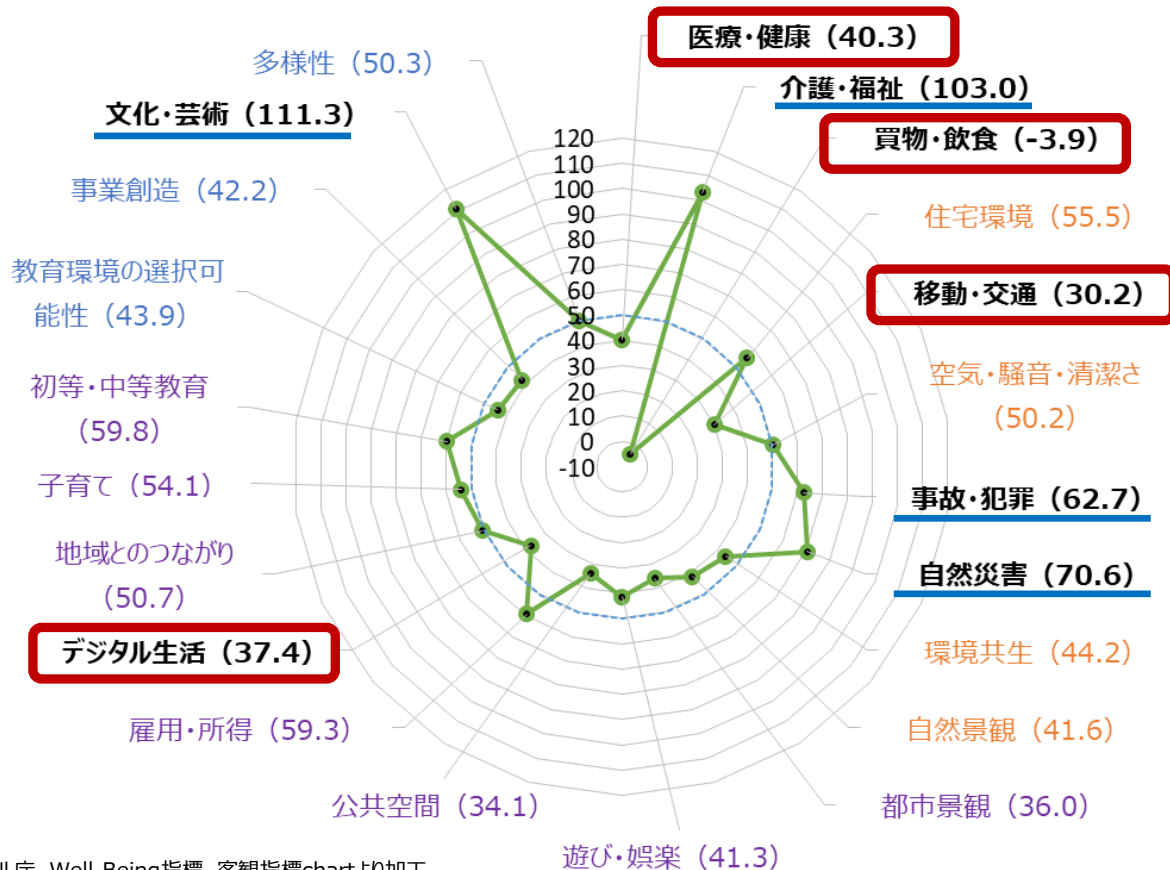
地域課題：Well-being暮らしやすさ客観指標

吉備中央町

※ 国のオープンデータを
活用した地域の外部環境
による暮らしやすさ偏差値
(客観指標)

数値が低い分野

数値が高い分野



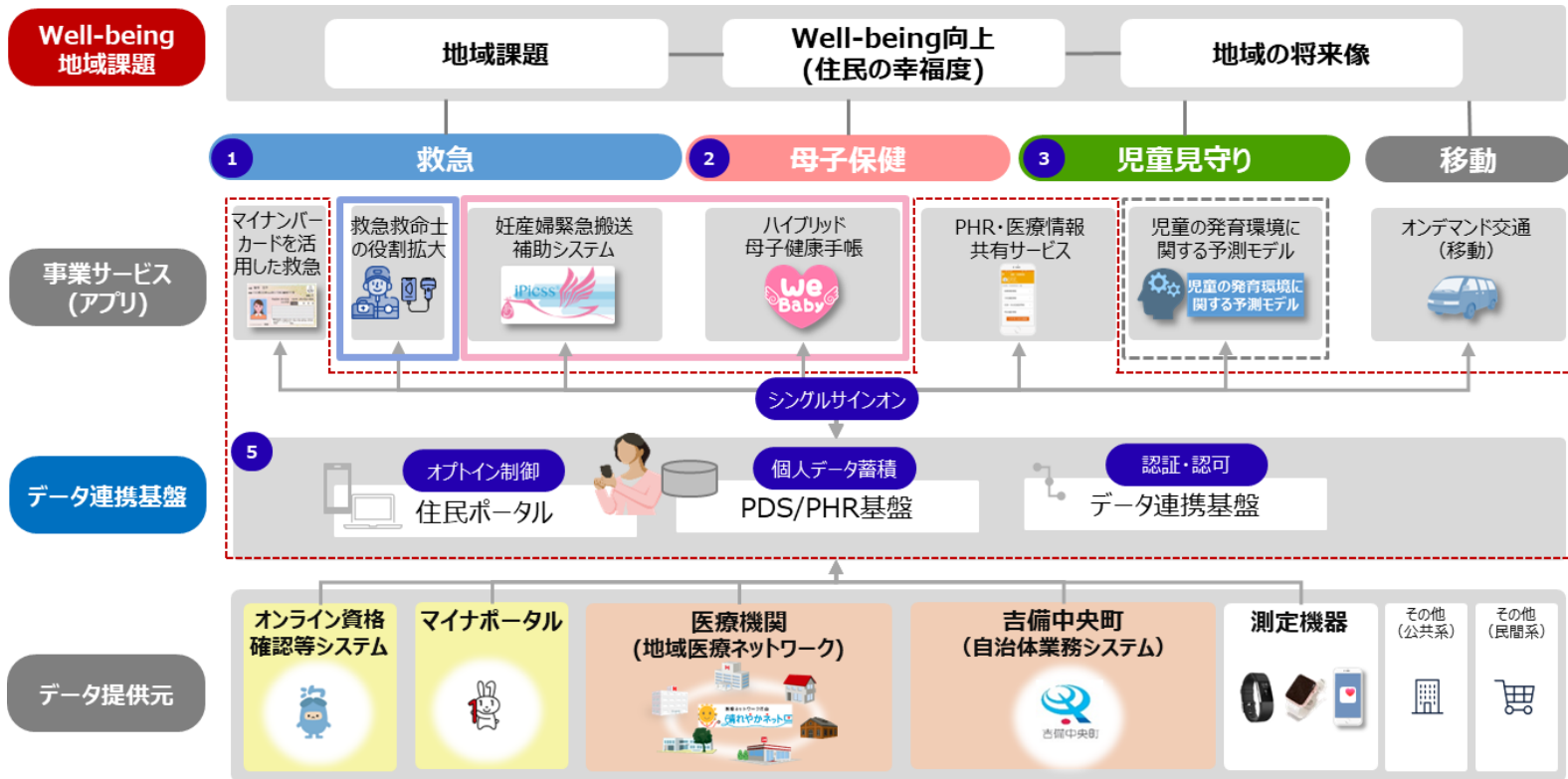
政策目的：実現したい地域の将来像

吉備中央町 誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生



プロジェクト全体概要

住民のWell-being向上を目標に、データ連携基盤を活用した事業サービスの実装を目指す



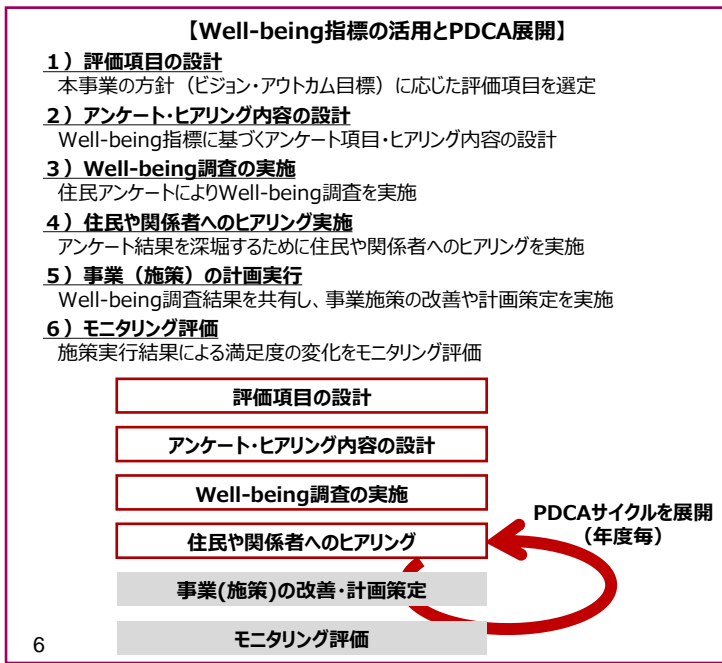
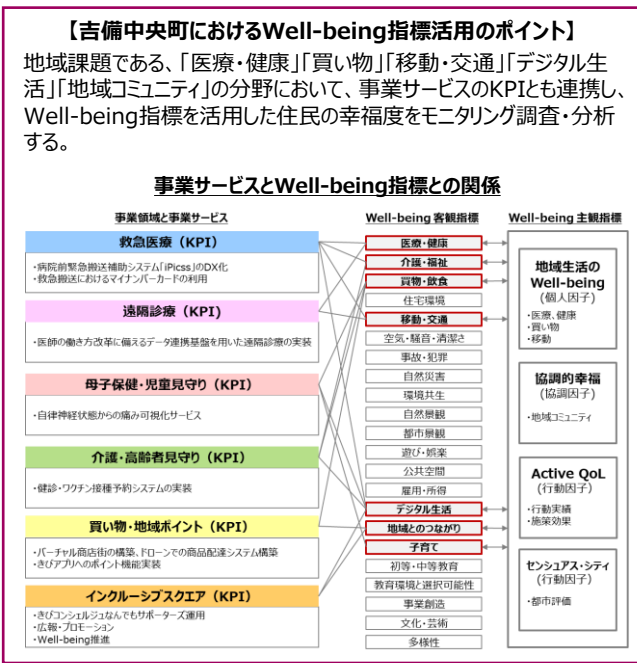
Well-being指標活用の考え方・概要

■ Well-being指標活用の考え方

目指す姿の実現に向け、住民の幸福度を評価する指標としてWell-beingを活用する。事業開始前の状態から事業実施後の変化をWell-being指標でモニタリングすることで、各事業・サービスが住民の幸福度や生活の質に効果的な影響を与えているかの分析を行い、その結果を各事業サービスの改善・計画にも反映することで、住民に寄り添った効果的な施策展開を図る。

■ Well-being指標活用の概要

吉備中央町が目指す「医療環境の充実(救急医療・遠隔診療)」「母子保健、児童見守り」「介護・高齢者見守り」「買い物・地域ポイント」等の取組みが、岡山県吉備中央町という典型的な中山間地域に暮らす人々の生活の質向上につながるよう、Well-being指標を設計し、住民に対するアンケート調査およびヒアリングを実施する。住民アンケートでは、本事業で実施する個別事業の認知度や期待度・効果の実感・課題なども合わせて評価する。抽出された結果をもとに関係者・住民ヒアリングを実施、各事業のKPIの状況とともに総合的に評価することで、本事業の具体的な施策を改善し、より効果の高い事業推進を実現する。



Well-being指標アンケートの構造と展開プロセス

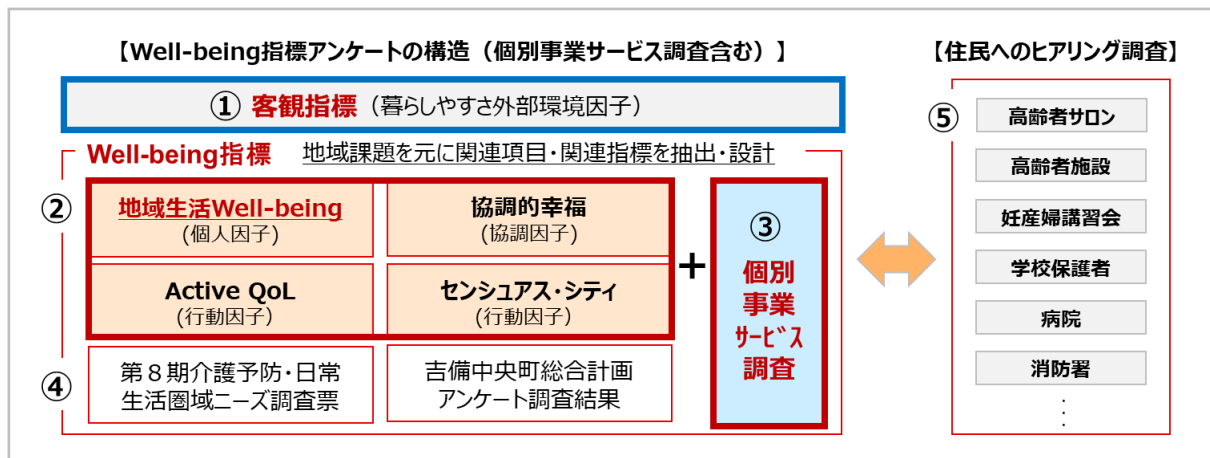
1) 調査・分析

- ✓ 国が公開するWell-being指標に基づき、外部環境の客観データによる調査・分析、および住民アンケートによる調査・分析（①、②）
- ✓ 吉備中央町が進める事業サービスに関する調査・分析（③）
- ✓ 住民の集いの場や関係機関を訪問し、調査結果のフィードバックや生の声をヒアリング・ディスカッションの実施（⑤）

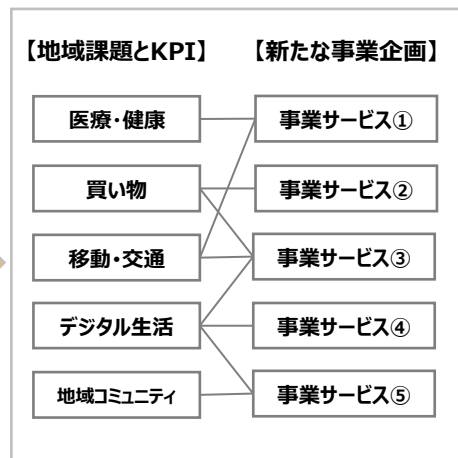
2) 事業評価・事業企画

- ✓ 地域課題と事業サービスKPIの評価
- ✓ 新たな事業サービスの企画 ⇒ 来年度の「デジタル田園都市国家構想交付金」への申請

【調査・分析】

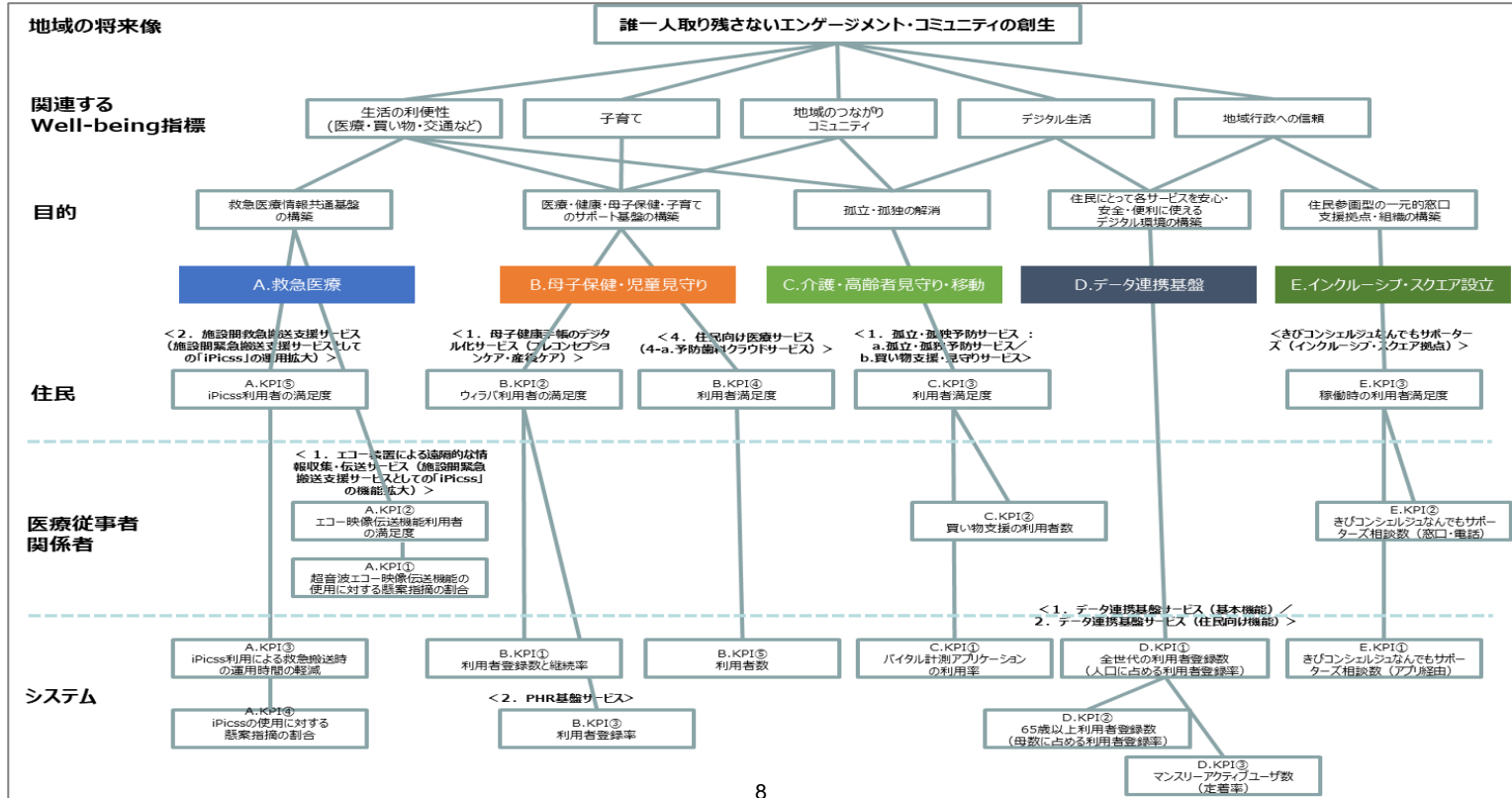


【事業評価・事業企画】



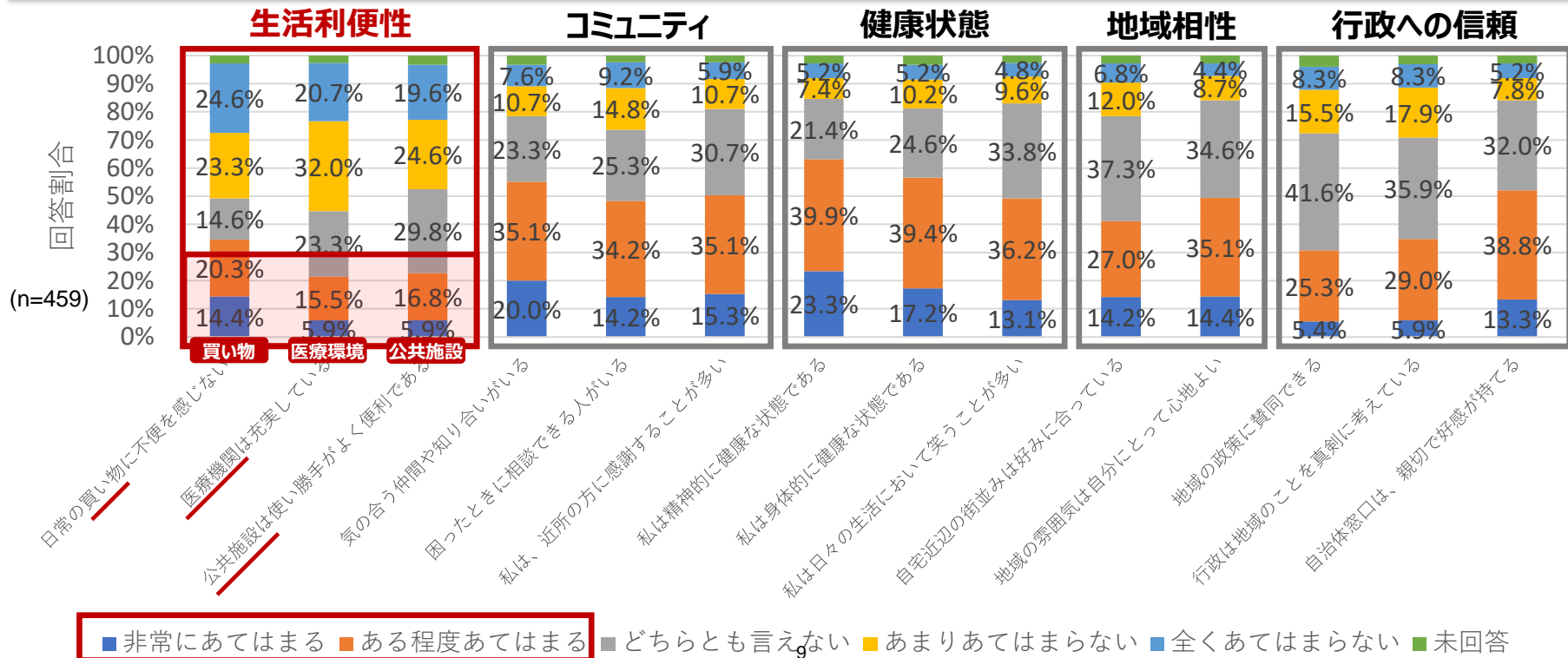
Well-being指標と事業サービスKPIの体系化

地域課題に対するWell-being指標と事業サービスのKPIとの関係性を体系化し、**目標達成に向け共通認識**を図る



事例1) Well-being調査結果：地域生活のWell-being

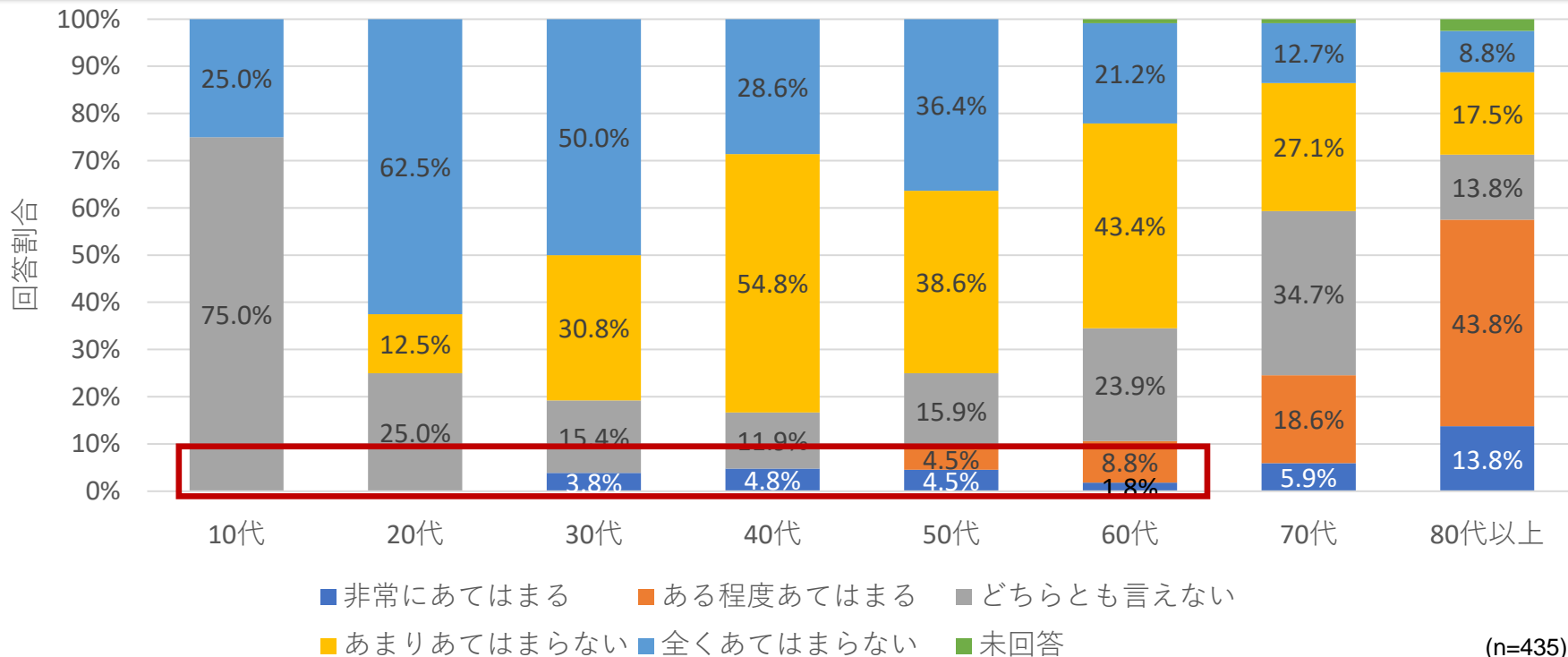
客観指標の結果と同様に、生活利便性(買い物、医療機関、公共施設)への満足度が低い



事例2) Well-being調査結果：医療環境の満足度（年齢別）

若い世代の満足度が低い

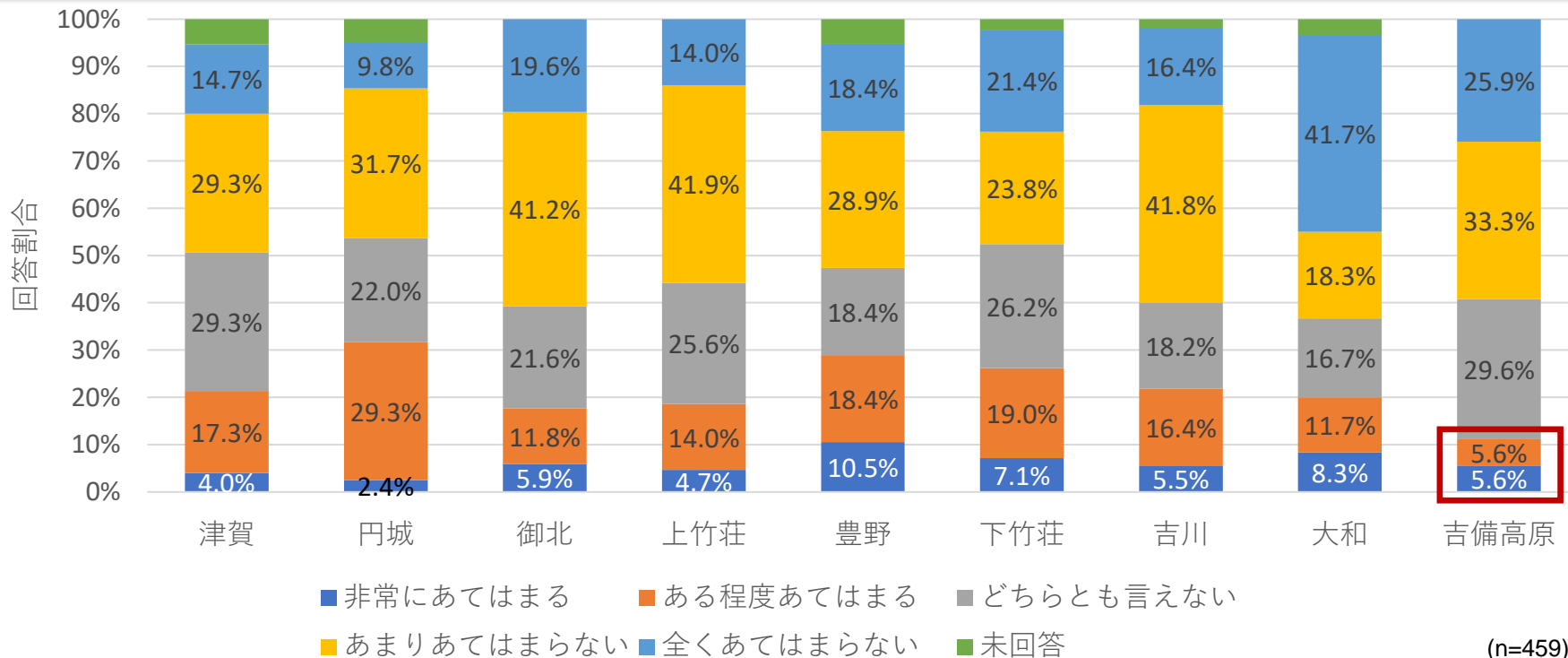
理由：高齢者家族を町外の病院に連れていくために、仕事を休むなどの対応をしていることが課題（ヒアリングから）



(n=435)

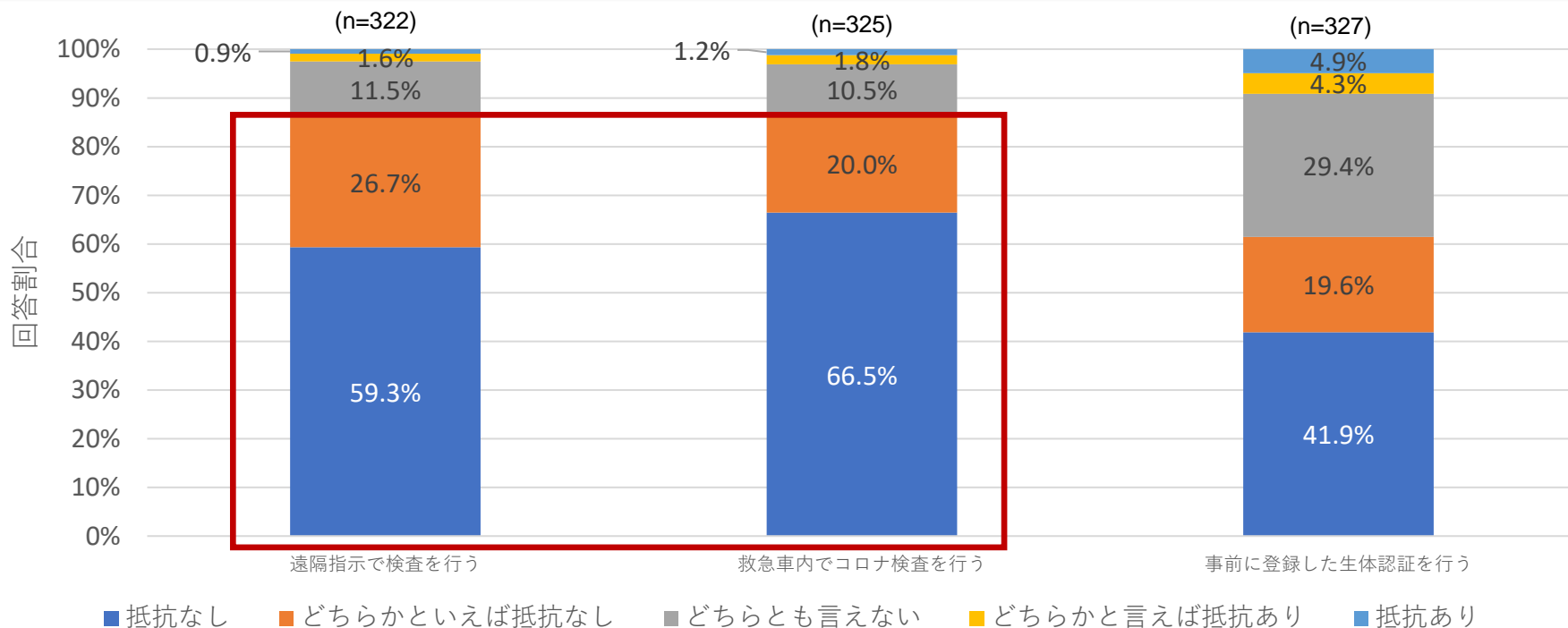
事例3) Well-being調査結果：医療環境の満足度（地区別）

他地域(都市部など)からの移住者が多い、吉備高原都市の住民の満足度が低い傾向



事例4) 事業サービス関連調査：救急救命士の活動に対する期待

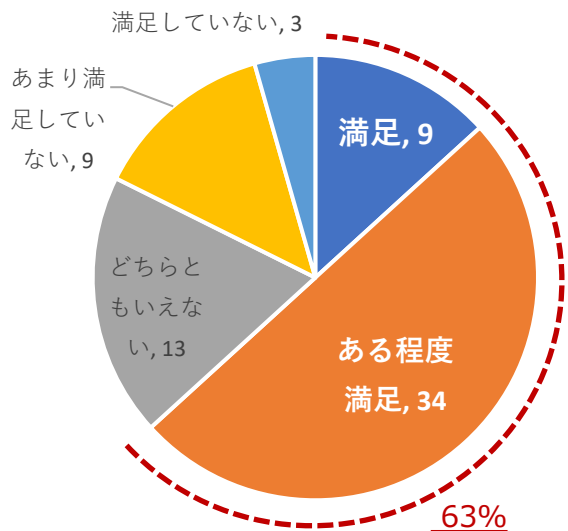
救急救命士が医師の指導の元で検査を行う救急DXに86%が肯定的



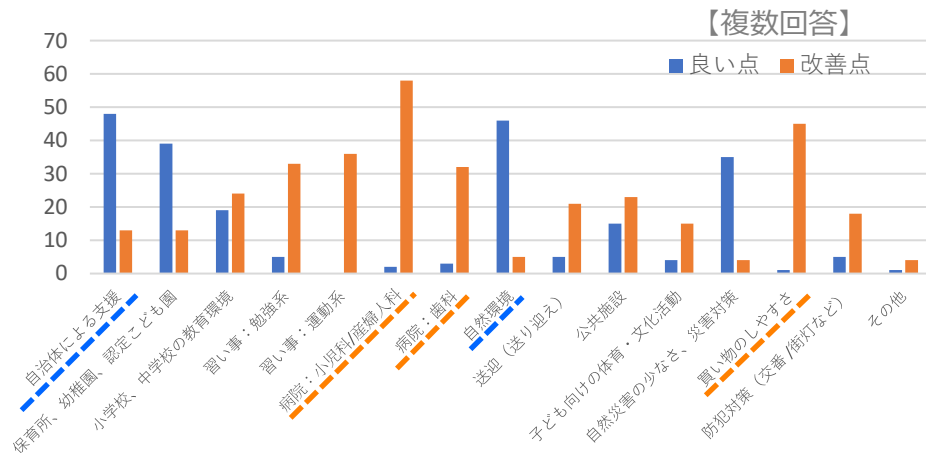
事例5) 事業サービス関連調査：吉備中央町での子育て環境

- Well-being調査と合わせて、個別事業サービスに関するアンケート調査を実施することで、課題やニーズの深堀を実施
- **子育て環境に63%は満足(特に自治体支援・自然環境)** するが、**病院や買い物への具体的な改善要望**を抽出

○ 「吉備中央町での子育て環境」の満足度



○ 「吉備中央町の子育て環境」の良い点・改善点

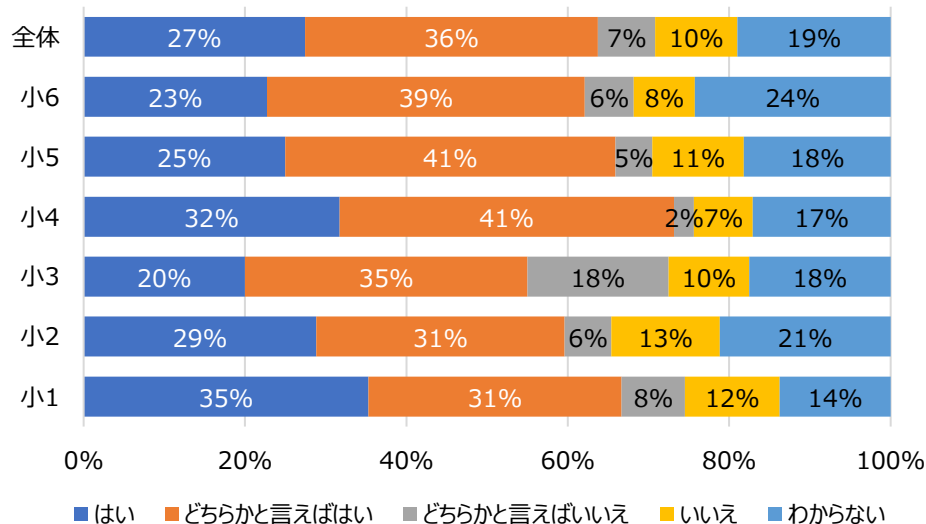
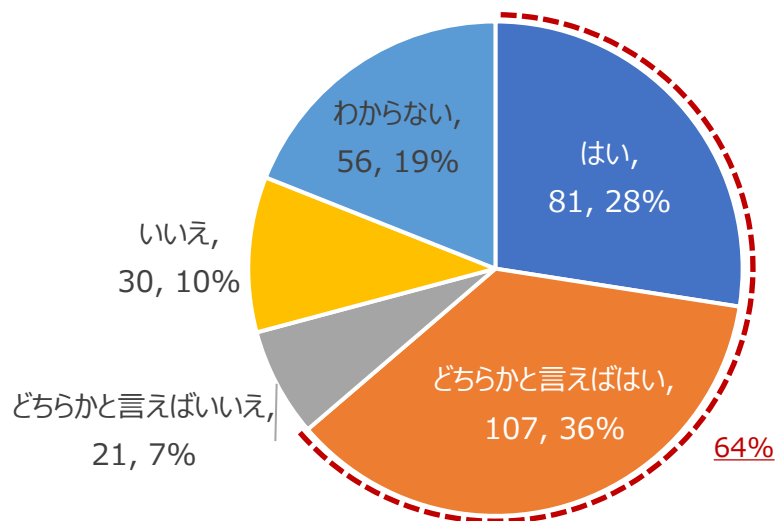


「その他」の分類	「その他」のコメント
自治体による支援	小学校までの子育てで支援は手厚く感じるが以降は急に少なくなる感じがした。
小学校・中学校の教育環境	高校がない
習い事: 運動系	部活や習い事がすくない。
病院: 小児科/産婦人科	眼科
買い物のしやすさ	・買い物できる場所も、少ない。岡山に出るしかない印象です。 ・大手薬局やスーパーの導入、子どもやベビー用品の充実

事例6) 事業サービス関連調査：歯科DXへの関心（小学生保護者）

町に歯医者さんが少ない環境の中で、64%が歯科DXに肯定的

- 歯科の健診結果や治療状況を見ることが出来るサービスがあれば良いと思いますか？



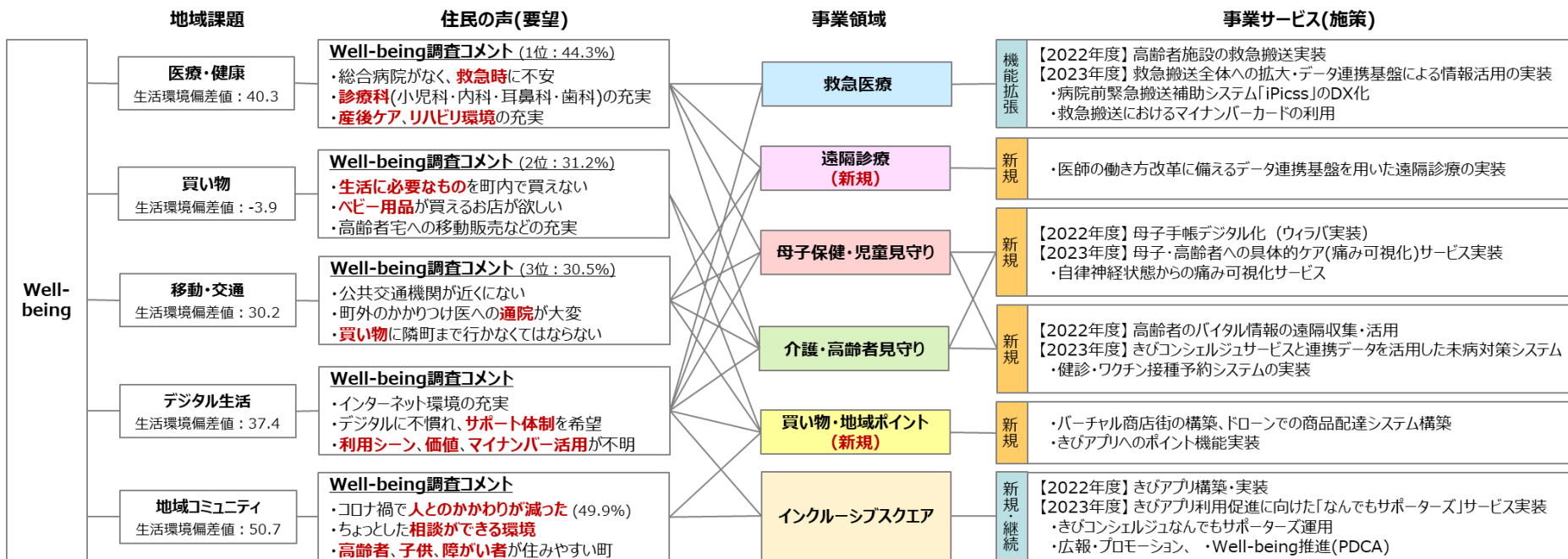
事例7) Well-being調査結果：住民ヒアリング・ディスカッション

- 住民の集いの場や関係機関を訪問し、アンケート結果のフィードバックを実施
- 生の声(課題や要望)をヒアリング、ディスカッションをすることで、住民との相互理解を深め、今後の事業サービス展開に反映

	地域課題	住民の声(要望)	
Well-being	医療・健康	<ul style="list-style-type: none">総合病院がなく、救急時に不安診療科(小児科・内科・耳鼻科)の充実産後ケア、リハビリ環境の充実	コメント数 1位：44.3%
	買い物	<ul style="list-style-type: none">生活に必要なものを町内で買えないベビー用品が買えるお店が欲しい高齢者宅への移動販売などの充実	コメント数 2位：31.2%
	移動・交通	<ul style="list-style-type: none">公共交通機関が近くにない町外のかかりつけ医への通院が大変買い物に隣町まで行かなくてはならない	コメント数 3位：30.5%
	デジタル生活	<ul style="list-style-type: none">インターネット環境の充実デジタルに不慣れ、サポート体制を希望利用シーン、価値、マイナンバー活用が不明	
	地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍で人とのかわりが減った (49.9%)ちょっとした相談ができる環境高齢者、子供、障がい者が住みやすい町	

Well-being調査結果と事業施策の関係

Well-beingの調査結果から来年度事業の施策を討議・決定



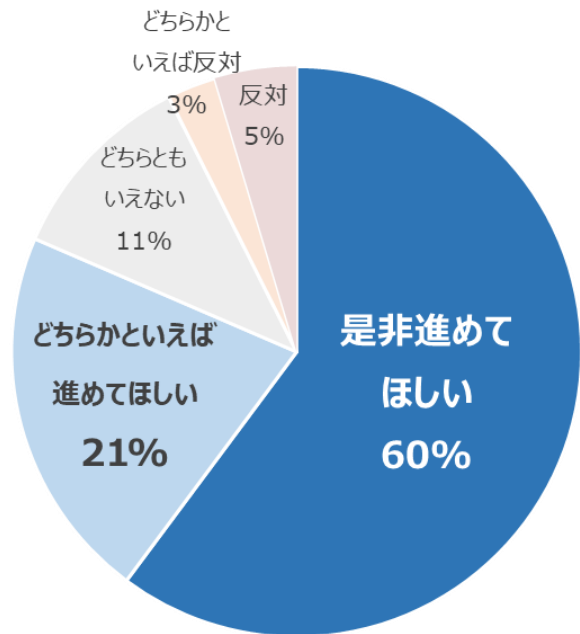
※生活環境偏差値：Well-Being指標に基づき、オープンデータから地域の生活環境を偏差値で表したものを

おかやま  吉備中央町

参考：住民説明会での住民の声

- 取組の方向については、住民も賛同の意見が多く、医療・買い物・移動分野への期待が高い

住民説明会（スーパーシティ構想申請時）



住民の期待領域

